



米本 隆記 議員

【米本】たいへんはげしい選挙戦を僅差で勝利した森田町長の手腕に、町民が期待を寄せている。町民の約半数は、この4年間の森田

# 選挙公約は？

町長

着実に実行する



公約の実現に取り組む森田町長

町長の行政執行に疑問を持っている。この人たちにも納得してもらえなかり取りが必要になると思うが、選挙戦の感想は。

【町長】半年にもおよぶきびしい選挙戦であった。知名度のある候補者同士という状況の中で、それを反映した結

果だと思う。掲げる政策も類似したもので、最終的にはどちらに担わせるかであったと思う。

選挙の公約は着実に実行していく。今回の補正で予算化したものもあるが、各課に指示し、その取り組みを進めている。検討段階のものもあるが、随時公表していく。

# 公社は補助金頼みでは？

町長

全体の収支で低減する

【米本】森田町政2期目の大きな課題として、大山恵みの里構想の推進がある。しかし、多額の補助金に頼る公社の運営には問題もある。

公社の設立目的や加工施設の役割など、再度検証する必要がある。どのような運営をめざすのか。

【町長】公益事業は公社の目的に照らし、補助金を財源とすることには、意義があり継続する。

収益事業では、委託販売は、ほぼ横ばいで推移している。生産者との計画生産・計画出荷の仕組みづくりを考える時期になった。農

産物処理加工施設は、収益性向上に引き続き取り組む。自社製品の開発や既存の商品力を強化し、販売拡大をはかる。

ただし、現在の加工所の問題から黒字化はきわめて困難である。公社全体の収支で補助金を低減するように努める。



業務にはげむ公社職員